

第15号

発行責任者
埼玉県西部支部
支部長 岡部奈緒美

発行日
令和3年2月1日

事務局
〒350-0451
入間郡毛呂山町毛呂
本郷227

東洋大学校友会 埼玉県西部支部だより



渋沢栄一の生地「中ん家」門前にて

支部長あいさつ

埼玉県西部支部支部長 岡部 奈緒美
(昭57年卒・経済)



東洋大学校友会埼玉県西部支部の皆さまにおかれましては、日頃より校友会ならびに支部活動に対しまして多大なるご支援ご協力を賜りますことに心からお礼を申し上げます。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大により東京オリンピックが延期され、緊急事態宣言が発令されるなど、皆さまの暮らしが一変する未体験ゾーンに遭遇するとうるさしい日々が続きました。医療介護に従事する皆様のご奉職に心から感謝を申し上げます。

一月二・三日に開催されました「第97回東京箱根間往復大学駅伝競走」では、総合3位(往路2位)に返り咲きました。選手の皆さんと酒井監督をはじめ陸上競技部長距離部門の皆さんに心からお祝いを申し上げます。また、テレビにて応援していただきました卒業生の皆さまに厚くお礼を申し上げます。この大会で四年生の大森主将は選手の水分補給を担当しました。彼は4年間一度も箱根を走ることはありませんでしたが、コロナ禍の中でもしっかりとチームをまとめ、総合3位へと押し上げた原動力になったのだと思います。大森主将お疲れさまでした。

東洋大学ではこの一年間ロックアウトが続き、すべての授業がオンラインになりました。新入生にとっては思いもよらぬ大学生のスタートになったことでしょう。また、4年生においても学生最後の年がこのような状況になってしまったことで戸惑いもあったかと思えます。しかしながら、この困難を乗り越えることが、それぞれの力になることを信じています。このような中ではあります、東洋大学校友会は「一般社団法人東洋大学校友会」になりました。今後とも皆さまのご協力をお願い申し上げます。一日も早く新型コロナウイルス感染拡大が収束することを願うとともに、埼玉県西部支部の皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



令和二年度

埼玉県西部支部

総会報告

令和二年は新型コロナウイルスが感染拡大し、各国で感染者が増加しています。そして、感染拡大防止に向けた対策が、現在も日本だけでなく世界規模で取り組まれているところです。

埼玉県西部支部では昨年度末の役員会において、本年度の定期総会を令和二年七月四日（土）、午後一時三十分から東洋大学川越キャンパスで開催することを決定し、準備を進めました。

《緊急事態宣言下の準備》

四月になり総会開催に向けて本格的な準備を始めた時期に、我が国では感染者が増加し、「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が国から発出される事態となりました。それに伴い公共施設が使用できなくなり、予定されていた総会準備に向けた役員会も中止せざるを得なくなりました。そのため、支部では支部長を中心に電話・メールなどを通じて対策を検討し、校友会本部や他支部の動向などを踏まえながら準備を進めました。なお、コロナ禍のものとの準備にあたっては、「緊急事態宣言」の趣旨

を踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意して進めることとしました。同時に、総会は支部の会員が年に一回集まる貴重な機会であることから可能であるなら開催する方向で準備を進めました。

《支部会員への案内》

会員への案内については、前述したことに留意し、例年の通知文に新型コロナウイルスの感染状況によっては中止する可能性があるとの一文を加えました。また、例年実施している講演会や懇親会は中止することも追加しました。このことを理解していただいたうえで参加不参加の返信を頂くように案内文を送付しました。なお、参加するか否かの返信期限は六月十三日までとしました。

《書面議決による定期総会の開催と結果》

六月に入ると第一波はおおむね収束し「非常事態宣言」による自粛要請は終了。公共施設も使用できるようになり、本年度最初の役員会が開催されました。そこで、定期総会の実施について、当時の現状を踏まえ検討したところ、①感染者数が減少してきているものの安心できる状況にないこと、②総会の会場である川越キャンパスは使用が認められないこと（学生も入構を認められないこと）、③校友会本部は書面やメー

ルによる会議となつているとともに、多くの他支部も書面決議を採用していることから、当支部では、令和二年度の定期総会を書面決議で行うこととしました。そして、総会に「参加」と返信された方へ、令和二年度定期総会議案書を送付（議案書とともに総会が書面決議となった経緯と意見を記入していただく欄を付した用紙を添付）し、意見を求めることとしました。意見等は七月四日（土）までに返信していただくよう依頼しましたが、期限までに反対意見はありませんでした。この結果は、七月十日（金）に行われた役員会において報告があり、議案書に示した議案は全て承認されたことを確認しました。

《予定された本年度の総会の概要》

本年度の総会は次のような「次第」を計画しました。昨年度までの次第と異なる点は来賓挨拶と来賓紹介をなくしたこととです。これは「コロナ禍」のもと多くの他支部が安全対策を優先し、周辺支部への総会への「出席のお願い」の案内を中止したことにより、西部支部としました。他支部に総会への出席を依頼せず、西部支部からも他支部総会に出席しないこととしました。また、例年計画した「講演会」と「懇親会」も中止しました。

【予定した次第】

- 一 開会の辞
- 二 黙祷
- 三 大学歌斉唱
- 四 支部長挨拶
- 五 議長選出
- 六 議事

第一号議案
令和元年度会務報告
事務局長 中島 明男

第二号議案
令和元年度収支決算報告
会計 村野 公平

第三号議案
令和元年度監査報告
監事 小野澤康弘

第四号議案
令和二年度事業計画（案）
支部長 岡部奈緒美

第五号議案
令和二年度予算（案）
会計 村野 公平

その他
七 閉会の辞

【各議案の概要】
第一号議案 令和元年度事業報告
主な活動を抜粋して紹介し、

*総会「校友の集い」
令和元年七月六日（土）
十三時三十分から東洋大学川越キャンパスを会場に行われました。

※総会後、東洋大学硬式野球部監



督の杉本泰彦氏による講演会を実施

その後、会場を移動して懇親会を実施

*レディース部主催バスツアー

令和元年六月一日(土)

目的地 板倉キャンパスと館林

(二六名参加)

*中川圭太・小島脩平・小田裕也応援ツアー

令和元年七月二十日(土)

メットライフ球場(十七名参加)

*「学祖墓参りと哲学堂公園」散策

ツアー：西地区主催

令和元年十一月三十日(土)

(二十名参加)

*役員会：原則として偶数月に開催

(六回実施)

*埼玉県西部支部だより十四号発行

令和二年二月一日 千部

*周辺支部総会への参加

埼玉県東部支部・千葉県支部・神奈川県支部・東京五支部へ、正副

支部長・事務局長・代議員が参加

*全国女性連絡会主催「しまなみ海道ツアー」への参加

令和元年十一月十五〜十七日

支部長他六名参加

*埼玉白山教育会への支援と総会

(令和元年十二月七日)への出席

支部長・事務局長が出席

*「元氣かい」への参加

令和元年五月十八日(土) 支部長他五名参加

この他、全国支部長会・全国女性連絡会議総会・校友大会等に参加しています。また、陸上競技部や硬式

野球部等の選手への応援や支援を行いました。

第二号議案 収支決算書(表1参照)

第三号議案 令和元年度監査報告

令和二年五月二十五日

監事(矢部操・小野澤康弘)により

監査した結果、適正に執行されていることが認められました。

第四号議案 令和二年度事業計画

主な計画を抜粋)

本年度も埼玉県西部支部規約に定める目的達成のため、次の事業を進めます。

一 支部組織の充実と地域活動の活

性化

二 会員相互の連絡と親睦

三 広報活動 会報十五号の発行

四 母校行事への協力及び学生活動の支援

五 近隣支部との連携

六 雨水会との連携

なお、本年度は新型コロナウイルス感染拡大により、計画が変更になる可能性があります。

第五号議案 収支予算書(表2参照)

《令和二年度の活動》

本年度は「コロナ」とともに活動

がスタートしました。感染拡大に伴

う様々な困難がある中、支部会員の

知恵と協力により活動を進めています。

主なものを二つ紹介しています。

一つは、例年六月に実施している

「バスツアー」と秋に行っている「散

策」を合同で実施(十一月二十八日・

渋沢栄一記念館他)しました。それ

ぞれの事業の趣旨を生かして実施す

ることができました。

二つ目は、本部の支援や他支部の

Table 1: 令和元年度 収支決算書 (表1参照)

Table 2: 令和二年度 収支予算書 (表2参照)



新しい時代の魅力ある校友ソサエティの実現をめざして 埼玉県西部支部校友の皆さま

(一社)東洋大学校友会会長 神田 雄一



日頃は校友会活動にご理解とご支援を賜り心より感謝申しあげます

コロナ渦中であつて皆さまには健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年の干支は「辛丑」で、これは辛いことが多いだけ大きな希望が芽生える年になることを示しているところとある書物で見ました。校友会では「新しい時代の魅力ある校友ソサエティの実現」に向けて大きな希望が芽生えるよう一層奮闘してまいります。貴支部は校友会でも正会員の多い支部のひとつであり川越キャンパスも近隣にあることなどから岡部支部長を中心に大変活発な活動を展開されておられ、IT化推進も率先して実践しておられることは大変ありがたく感謝申し上げます。校友会では昨年に引き続き、校友会

の活性化と改革を推進して参りますが、皆さまのご理解によりお陰様で昨年10月1日に「一般社団法人 東洋大学校友会」として新たな一歩を刻むことができました。これにより組織としての「社会的信用」を高め、「透明性や説明責任」を明確にすることで自らを律しつつ会の目的を達成することが可能となりました。

理事会では現在、理事・代議員の選出に関する新たな枠組みの確立に向けて議論を進めております。また、校友会費の代理収納の復活、卒業生情報の共有さらに校友コミュニケーションの進展の為のIT化の推進に向けて更なる注力をしてまいります。

今後の運営は、全校友の代表組織として開かれた組織を目指し、全世代、地域の網羅性に配慮すると共に、次世代の校友会を担っていただく若い年代層の校友にも参加いただくよう努めたいと考えております。

埼玉県西部支部校友の皆さまには、リニューアルした校友会ホ

ームページからは是非メールマガジンのご登録をお願いいたします。ご登録いただいたメールアドレスに定期的に卒業生や大学の情報をお届けしております。今後とも校友会の活動により一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、時節柄、貴支部校友の皆さまにはくれぐれもご自愛の上、お過ごしくださいと

校友会選挙管理委員就任の挨拶

埼玉県西部支部 高 沢 佳 弘(昭57年卒・国文)



この度、2020年度支部長会議にて東洋大学校友会選挙管理委員委嘱の決議をいただきました。微力ではございますが、全国30万人校友会の発展・円滑な運営に尽力させていただきます。

今年度は、新型コロナウイルス感

共に貴支部の益々のご発展をご祈念申し上げます。



染拡大予防措置として様々な対応が講じられている中、校友会の活動も制約された諸活動を展開していることと思えます。また学生への支援も大きな課題と承知しています。現在は、対面・非対面のハイブリッド型授業を展開していると伺いました。私も埼玉白山教育会の一員として、教職志望の学生達の採用選考対策のお手伝いをさせていただいています。校友会、埼玉白山教育会の裾野を拡げ、未来ある子供達の教育に携わる学生の将来に大いに期待し、物心両面の支援を続けて参ります。今後ともご指導よろしくお願いいたします。

目指せ！

2度目の甲子園胴上げ投手!!

岡部 和雄(昭57年卒・経済)



令和2年9月10日大安吉日に、硬式野球部の村上頌樹投手(智弁学園)は、プロ志望届を提出しました。村上投手は、智弁学園の3年の春に出場した選抜高校野球大会で全国制覇を果たしました。東洋大学入学後は、上茶谷・梅津・甲斐野の3大投手の存在があり、なかなか登板の機会が

ありませんでした。しかしながら、3年生になりエースとして大活躍をしました。1m74cmと大きな投手ではありませんが、最速149kmの回転数の多いストレートを武器に東都大学の強打者をキリキリ舞いさせました。マウンド上の村上投手は、テンポの良い正にちぎっては投げの昭和・平成の大投手である稲尾、江川、桑田を思い出させるマウンドさばきでありました。4年になりケガにより力を発揮することができませんでした。が、阪神タイガースのスカウトの目にとまりドラフト5位の指名を受け、甲子園のマウンドに再び立つことができます。

私は、一昨年の全日本大学野球選手権大会で、昨年広島カープに入団した森下投手(明治大学・新人王)との投げ合いを観戦することができました。精度の高いストレートを投げる森下投手と、分かっているも打てない村上投手との投手戦は息詰まる一戦でした。残念ながら試合は敗れましたが、おそらくこの試合を私



と同じような目線で見ていた阪神タイガースのスカウトが指名の決め手になったと思います。10月31日、硬式野球部合宿所に阪神タイガースの吉野スカウトが挨拶に来ました。右前腕肉離れでリハビリ中ですが、遠投で80〜90m投げられるほどに回復したそうです。阪神タイガース矢野監督からの期待も大きいことを村上投手に伝えたそうです。



短距離の桐生選手と川越グラウンドにて

村上投手が一番対戦したい打者は、智弁学園の先輩である巨人の岡本選手をあげました。甲子園のマウンドで三振を取り、少し照れた村上投手のガッツポーズを一日も早く見たいと思います。二人の対戦が楽しみです。

今年の東都大学秋季リーグ戦では、駒澤大学と同率の最下位でありました。新型コロナウイルス感染拡大により、2試合勝率制で開催され、入れ替え戦はありません。また、ベスト9に木村翔大選手(3年)が選ばれ、松沢海樹投手(2年)は防御率3位の好成績を納めました。杉本監督は、来季は新人選手をはじめ、好選手が大勢いるので大いに期待してほしいとの強い決意がありました。

2021年は、甲子園と神宮球場で応援しましょう。



埼玉白山教育会

埼玉白山教育会会長 横山 清
(昭和55年文学部哲学科 ケルン大学留学 昭和58年大学院卒)



東洋大学は「教職の東洋」と言われ、教員は各地で活躍し「白山教育会」を結成しました。

埼玉県において、小学校、中学校、高校、特別支援学校等で活躍するたくさんの方々の東洋大学卒業生がいます。その埼玉県の教職員が、力を合わせ、活動しているのが本会「埼玉白山教育会」で創立二十七年目を迎えます。東洋大学教務部教職支援課の支援をいただき、連携して活動しています。ここで本会を継続発展させていただいた歴代の会長の皆様方に敬意と感謝の心を込めてご紹介いたします。

歴代会長

目下部公保先生 (元公立高校校長)
川端 幹夫先生 (元私立高校校長)
田中 啓彦先生 (元公立高校校長)

飯塚 和夫先生 (元公立高校校長)
中島 明男先生 (元公立中学校校長)

活動は、毎年八月に受験実践指導、十二月に総会・講演会・研修会・表彰を行っています。

一 総会等について

一時期は会への参加教員が先細りし、東京白山教育会と共催、隔年開催と先行きが心細くなりかけたこともありました。

平成二十六年より、川越キャンパスにおいて毎年総会を開催し、参加人数も年々増え、参加者三十名余の半数以上が二十代の若手教員となり、活況が出てきています。

令和二年度の総会・研修会等は、新型コロナウイルス感染症対策のため、インターネット・オンラインで開催しました。

二 講演会活動

平成二十六年より、十二月に川越キャンパスで総会に続いて、講演会を行なっています。懇親会では、若手教員、東洋大学出身の教科書出

版社の方々も交えて、熱い交流が図られました。

講演会の歩み

○平成二十六年度 宮崎英憲先生
東洋大学名誉教授 「国の教育改革の動き」

○平成二十七年 度 神田雄一先生
東洋大学副学長 「最近の東洋大学の歩みと活躍そしてこれからの発展」

○平成二十八年度 陸上競技部短距離コーチ 土江寛裕先生
東洋大学准教授 「リオ・オリンピックを振り返って」

○平成二十九年度 岩崎康夫先生
前埼玉県副知事 「埼玉県における少子高齢化社会の課題と対応」

○平成三十年 度 大辻永先生
東洋大学教授 「教育改革にみる二本の矢」

○令和元年度 神田雄一先生
東洋大学校友会会長 「東洋大学と校友会活動」

三 後輩教員の育成

埼玉県教員採用試験の合格に向けて
埼玉白山教育会には、小学校、中学校、高校、特別支援学校等で活躍される校長・教頭先生方等の管理職が多数おられます。そこで毎年埼玉県教員採用試験一次試験合格者に

向けた二次試験対策実践演習の指導を頂いています。



右より

岡部奈緒美 埼玉県西部支部長
神田 雄一 校友会会長
横山 清 埼玉白山教育会会長

学校種毎個別の熱のこもった演習で、白山・川越・朝霞・板倉キャンパスから集まり、埼玉県の教員を目指す学生たちは、「本番と同様の緊張感の中で練習できました。がんばります。」と二次試験に向けた決意を述べていました。

今年十月の合格発表では十名が合格し、令和三年四月に新任教員として教壇に立ちます。

四 研究発表・研修会の開催

教員の日頃の教育活動や研修につ

いて研究発表する場を設けました。

○令和二年度

滑川町立滑川中学校教諭

前田健太先生

「教員二年目を迎えて」

併せて「埼玉白山教育論文賞」の授与を行っています。

東洋大学埼玉白山教育論文賞受賞者

○平成三十年

川越市立芳野中学校教諭

伊藤涼介先生



右より

鈴木裕一 教学課長

大辻 永 教授

國本千里 先生

横山 清 埼玉白山教育会長

神田雄一 校友会長

「日々研修、経験を積み上げてよりたくましく」(『バイディア』2019年30号 東洋大学教職課程年報)

○令和元年度

東松山市立北中学校教諭

國本千里先生

「二年間の奇跡」(『バイディア』2020年31号 東洋大学教職課程年報)

本会は、今後も会員相互の交流と親睦を図り、大学と教員養成の連携を行います。若手教員の育成に取り組む、英気溢れ、輝く若手教員が「教職の東洋」の要となることを確信しつつ、さらに発展するための活動を推進してまいります。



渋沢栄一 探究バスツアー

埼玉県西部支部 高野 正史(昭62年卒・経法)



茨城の筑波山等、晴天の空にとても綺麗で荘厳に写ってそれは素晴らしい眺めとなりました。

小一時間で渋沢栄一記念館に到着し中に入ると、渋沢栄一の半生をお話しして下さる方がいらつしやいました。

渋沢栄一の前半の人生が波乱万丈だったようで、大河ドラマをご覧になる時はこのあたりを楽しみにしてください。

2階にあがるとそこに、渋沢栄一にせたアンドロイドを設置したお部屋があります。ここでは、アンドロイドの渋沢栄一がまるで生きていくかのようにお話しをされます。30分程の講義?を聞いてみんなで記念撮影をいたしました。

ここから渋沢栄一の生地である「中ん家」に向かいます。

もともと養蚕農家であった渋沢家は大きな作りで立派な家が残されていました。

広いお庭と見事な植木に、参加者も驚きの声をあげていました。

快晴の空の下、川越に朝9時に集合してバスツアーを開催いたしました。コロナ禍で大変な時期でしたが、感染防止対策を念入りに準備し休憩も30分おきには取りながらのツアーとなりました。

向かう先は埼玉県深谷市。ネギが有名ですが(深谷ネギ)、実は今年の大河ドラマの主人公である渋沢栄一も大実業家として名前を轟かせています。

そこで今回は渋沢栄一記念館を目指して、一路深谷市へと向かいます。深谷市というところは関東平野の中心にあり、周囲を見渡すと群馬三山の赤城、妙義、榛名、秩父連山、

